

インド事業創造セミナー ヘルスケア産業編 ～インドのヘルスケア産業のビジネスチャンスと事業化の課題と打ち手～

2011年2月21日（月）開催 (13:30 - 17:00)

講師一覧



サン・アンド・サンズ
アドバイザーズ
Mr. Aftab Seth



ヴァイッシュ・アソシ
エイツ・アドボケイツ
Mr. Vinay Vaish



ヴァイッシュ・アソシ
エイツ・アドボケイツ
Mr. Hitender Mehta



日本総合研究所
時吉 康範



日本総合研究所
海老澤 淳

主要国の首相・大統領がこぞって往訪しトップ外交を行うなど、高い成長率を背景に、ネクスト・チャイナとして世界の注目を集めるインド。

社会インフラ、エネルギー、消費財等と並んで、インド政府の5カ年計画において重点成長領域の一つに位置づけられるヘルスケア産業は、年10%前後の成長を続け、急拡大しています。

インドのヘルスケア産業は、大きく分けて2つの成長要因があります。

- 1) 所得構造の変化による有望市場としてのインド
- 2) ジェネリック医薬品の世界への有力供給先としてのインド：

本セミナーでは、日本とインドの間に立って相互理解と協働に実際にご尽力されている、政策と現場を知るゲストスピーカーをインドからお招きし、インドのヘルスケア産業のビジネスチャンスを解説したうえで、欧米韓中の企業が参入を加速するなかで日本企業はどのような戦略をとるべきか、日本企業の事業化に向けた課題と打ち手を考察します。

インドへの参入や事業拡大をお考えの方々の、事業可能性調査・事業化戦略策定の一助になれば幸いです。

プログラム*

13:30-13:40

ご挨拶

株式会社日本総合研究所 ディレクター 時吉 康範

13:40-14:30

インドヘルスケア産業の動向：日本企業の参入機会と事業化の課題

株式会社日本総合研究所 医療・医薬イノベーショングループ
コンサルタント 海老澤 淳

14:30-15:30

元駐日インド大使から見た、日本企業に求められる参入要件（同時通訳）

サン・アンド・サンズ アドバイザーズ
会長 Mr. Aftab Seth

15:40-16:40

インド企業とのクロスボーダーアライアンスの成功要因と失敗要因（同時通訳）

ヴァイッシュ・アソシエイツ・アドボケイツ
パートナー Mr. Vinay Vaish
パートナー Mr. Hitender Mehta

16:40-

質疑応答及び閉会の挨拶

株式会社日本総合研究所

*プログラムの内容は、事前の通知なく変更する場合があります。ご了承ください

対象企業様

ヘルスケア関連企業、ヘルスケア産業への新規参入をお考えの企業、インドにご関心がある企業の経営企画、新規事業・新商品開発、新市場開拓、研究開発部門の方々

会 場

アルカディア 市ヶ谷（東京）
<http://www.arcadia-jp.org/>

定 員

先着100名様迄

受講料

お一人様10,500円（消費税込）

申込要領

- ①弊社Webサイトの所定フォームからお申し込みいただくか、受講申込書をFAXにてお送りください。後日、受講者様宛に受講票および請求書を郵送致します。尚、1週間経過しても請求書がお手元に届かない場合は、下記申込照会担当までご連絡下さいませよう宜しくお願い致します。
- ②受講料金は必ずセミナー開催当日までにお振込みいただきますようお願い申し上げます（振込手数料は貴社負担にてお願い致します）。当日現金によるお支払いはお受けできません。原則として、領収書の発行は致しかねますのでご了承ください。
- ③お申込後の取消し・受講料の払い戻しはお受けできません。お申込者のご都合がつかない場合は、代理の方のご出席をお願い致します。
- ④セミナー当日は受講証をご持参のうえ、受付にてご提示下さい。
- ⑤セミナー会場においては、ビデオ・カセット・ICレコーダー・MD等による撮影や録音は固くお断りします。
- ⑥同業者様の受講はお断りさせていただきます。

受講料(含資料代・消費税)	申込照会先	受講料お振込先
一名様につき 10,500円 (本体価格10,000円)	(株)日本総合研究所 総合研究部門 TEL 03-3288-4640 内容照会：海老澤 申込照会：井上	三井住友銀行 青山支店 普通預金 No.557391 株式会社 日本総合研究所 カネホリウツウ ケンキョウ

講師プロフィール

日系企業のインドビジネスにおけるキーパーソンの一人



Mr. Aftab Seth

講演内容

インドのヘルスケア産業の今を、経済政策やインドへの投資状況などを踏まえつつ解説頂く。さらに、日印の架け橋として実際に長くご尽力されているお立場から、インドの視点で日本企業に今、何が求められているのかを解説していただく。

【略歴】※抜粋

1968年 インド外務省入省
2000年9月～2003年9月 日本駐在 インド特命全権大使 兼 公認ミクロネシア連邦駐割特命全権大使
2004年6月～2006年3月 慶応義塾大学教授・グローバルセキュリティ研究所所長
2006年4月～2009年3月 慶応義塾大学国際アドバイザリー委員会会長
現在 特定非営利活動法人 日印パートナーシップフォーラム 理事長
(株)サンアンドサンズアドバイザーズ 会長、インド工科大学、ボンベイ客員教授 等

第一三共・ランバクシーのM&Aを手掛けた法律事務所 Vaish Associates Adovocates 講演内容

日本企業がインド進出を検討するにあたって、インド現地企業とのアライアンスは参入の有力な選択肢である。
日系企業のアライアンス事例として着目される第一三共ランバクシーのM&Aをはじめ日印のアライアンスを手がけるインド法律事務所のパートナーのお立場から、日本企業のインド進出にあたって留意すべき法規制などの制約条件を解説していただいたうえで、日印企業間のアライアンスの成功と失敗の要因を解説していただく。



Mr. Vinay Vaish

【ヴァイッシュ氏略歴】

税法、会社法等の分野で弁護士として22年の経験を持つ。その中で企業M&A、ジョイントベンチャー、対内外投資、不動産取引などの領域でのアドバイザリー実績をもつ。近年は、国際セミナーなどにおいて、外国直接投資(FDI)、不動産、データ保護などについて講演を行っている。

【メータ氏略歴】

デリー大学法学部(LLB)を卒業、現在Institute of Company Secretaries of India (FCS)及びインド勅許会計士協会会員(FCA)。弁護士として15年以上の経験を持つ。専攻は経済特区(SEZ)、会社法、資本市場、企業金融、間接税(関税、物品税、サービス税)など。海外企業との戦略的M&Aに関するビジネスデューデリジェンス、IPO、経済特区などを専門とする。



Mr. Hitender Mehta

日本総合研究所 インド事業創造プロジェクト



ディレクタ 時吉 康範

講演内容

インドのヘルスケア産業を、知っておくべき基礎知識としてマクロなデータに基づいて概観したのち、現地製薬企業・機関へのヒアリング結果などを紹介しながらミクロな視点で市場の現状と今後の機会を解説する。
そのうえで、日本企業の参入における論点を整理する。

【時吉 職歴/専門分野】

JSR株式会社を経て入社 現在に至る。現在は、B to Bを中心とした事業を営む大手製造業を主な顧客とする成長戦略の支援（新規事業戦略、研究開発戦略、技術経営人材の育成）に従事。日本総研インド事業創造プロジェクト代表。



コンサルタント海老澤 淳

【海老澤 職歴/専門分野】

日系製造業を経て入社 現在に至る。日本総合研究所インド事業創造プロジェクトの先鋒としてインドに滞在し、ヘルスケアを中心とした現地の情報収集を行う。ヘルスケア関連コンサルティングに従事